

# JYMA 選抜 大学対抗ヨットマッチレース in 日産マリーナ東海 2012 (略称:大学対抗マッチ)

## Univ. Match in Tokai 2012

### レース公示(Ver.1.2)

#### NOR

#### 1 主催団体等

本大会は日本ヨットマッチレース協会(JYMA)と日産マリーナ東海(NMT)が共同主催する。

本大会は下記の団体、企業の後援・協賛・協力のもとに開催する。

・後援: 日本セーリング連盟(JSAF)

・協賛: 富士ゼロックス(株)、(株)日産マリーナ東海

エスメラルダ、祖国丸、月光、プロス、パピヨン、カラス、シェスタ、ケットフーク、エブタイド、インデペンデンス

(株)イチ・サン・ゴ・イースト、(株)セイルス・パイ・ワッツ・ジャパン、ハーケンジャパン(株)、(株)ノースセール・ジャパン、(有)伊藝

・協力: JSAFキールポート強化委員会、JSAF 外洋東海、三崎マリン(株)

#### 2 開催地

開催地は愛知県三河湾である。レース本部は日産マリーナ東海内に設置される。

日産マリーナ東海: 愛知県西尾市東幡豆町緑ヶ崎1 Tel 0563-62-4511

#### 3 イベント・グレーディング

本大会は ISAF グレード4として申請している。このグレーディングは ISAF Match Racing Ranking Sub Committee による再検討の課題となる。明確な理由がある場合、本大会のグレードは変更されることがある。また本大会は JYMA イベントグレード係数 1.5 の大会である。

#### 4 予定プログラム

##### 4.1 日程: 2012年3月10日(土)~11日(日)

- |      |       |  |
|------|-------|--|
| Day1 | 9:00  | 受付/体重測定(乗員4名以上合計体重 350kg 以下)、          |
|      | 9:30  | スキッパーズミーティング                           |
|      | 10:00 | レース艇ドックアウト                             |
|      | 10:30 | 第1マッチ注意信号                              |
|      | 12:00 | 着岸後、ランチ                                |
|      | 12:40 | 午後の最初のマッチ注意信号                          |
|      | 18:30 | アンバイア・ブリーフィング & 翌日のスキッパーズミーティング        |
|      | 19:00 | パーティ                                   |
| Day2 | 8:30  | レース艇ドックアウト                             |
|      | 9:00  | Day2 最初マッチの注意信号発令<br>(Day2 は海上で、昼食を配布) |
|      | 14:46 | 海上にて東北に向かい献花・黙禱の追悼                     |
|      | 16:30 | アンバイア・ブリーフィング、表彰式、                     |
|      | 17:00 | レース本部解散                                |

##### 4.2 実行委員会により許された場合を除いて、以下の行事に出席することは義務である。

- スキッパーは毎日のスキッパーズミーティングとアンバイア・ブリーフィング(クルーも後学の為、極力出席願います。)
- スキッパーとクルーはパーティと表彰式

##### 4.3 天候等の事情により 4.1 の日程で大会が開催できなかった場合、本大会は中止する。

中止の告知は、参加申し込みの際に使用されたメールアドレスに対してイベント担当者より連絡する。

## 5. スキッパーの参加資格

- (a) 招待出場数は 8 チーム。但し、実行委員会の裁量に招待出場数は増減する。  
実行委員会に招待されたスキッパーのみが本大会に参加する資格がある。  
招待基準は以下の通りである。
- ① 2010 年インカレ総合 4 位と、各種目 1 位(重複繰り上げ)の 6 校に出場意向を確認して招待状を送付する。
  - ② 上記 6 校に辞退があった場合は同様に 2011 年インカレの上位校から補充して合計 6 校に招待状を送付する。
  - ③ 上記①～②の招待の結果、出場枠に余裕ができた場合にはインビテーション・リクエストを提出した大学から、実行委員会にて選出して招待する。
  - ④ ワイルドカードとして 2 チーム。JYMA 会長が推薦する 2 名の大学入学 4 年以内、若しくは 22 歳以下のスキッパー。  
Non 学連の学生、専門特殊学校他、外国人学生も対象となる。
- (b) ①～④の招待の結果、出場枠に余裕ができた場合には、規定の期日までにインビテーション・リクエストを提出したスキッパーの中から実行委員会にて選出して招待状を送付する。**インビテーション・リクエストの提出締切りは、1月 20 日までとする。**
- (c) 乗員の内少なくとも一名はレース海面で J/24 を動かせる船舶免許を所持していなければならない。
- (d) 受付時に登録したスキッパーは非常の場合を除き、レース中は常に艇の舵をとっていなければならない。
- (e) 参加資格を留保するために、出場許諾を得たスキッパーはその受け入れを書面(eメール可)によって、指定された期日までに実行委員会に対して確認(返信)をしなければならない。また、指定された期日までに参加料を支払わなければならない。
- (f) スキッパーは、2012 年の有効な JYMA ユース会員資格(1,000 円)を取得していなければならない。(有効期間は毎年 12 月 31 日まで) JYMA 会員は事前に WEB で <http://www.matchrace.gr.jp/entry.html> 登録し、1 月 1 日以降に会費を指定銀行口座に振り込むこと。
- (g) **すべての競技者(クルー含む)も同様に、2012 年の有効な JYMA 会員資格(ユース会員 1,000 円)を取得していなければならない。**  
**(注:OB クルーが学生でない場合は JYMA クルー会員資格(10,000 円)を取得していなければならない。)**
- (h) **すべての競技者(クルー含む)は、2011 年度の有効な JSAF 会員資格(有効期間は毎年 3 月 31 日まで)を取得していなければならない。**
- (i) **スキッパーは ISAF セイラー ID を取得しなければならない。**これは [www.sailing.org/isafsailor](http://www.sailing.org/isafsailor) から無料でオンライン登録できる。
- (j) 外国籍を有するスキッパー、クルーは有効なナショナル・オーソリティの資格を証明できれば(d)(e)(f)の要請は免除される

**注:大会開催初日の受付時に会員資格の取得は認めない。各自、事前に登録、入金を行い、会員証又は振込証書を持参すること。**

## 6. 参加

大会実行委員会より郵送又は e-Mail にて招待状を発送する。

6.1 スキッパーは、大会当日の受付時にチームのクルーリスを提出し体重測定を行い、チーム全員の JSAF・JYMA 会員資格を自ら証明し、すべての費用の支払いを完了することにより本大会に参加する。

### 6.2 参加料/パーティ費/昼食費

- (a) 参加料は 1 チーム 7 万円(競技艇チャーター料を含む)である。
- (b) 招待状を受取ったインカレ枠 6 チームとワイルドカード 2 チームのスキッパーは、参加資格を留保するために 1 月 20 日(金)までに下記の銀行口座に 4 万円を振込まなければならない。
- (c) 参加料の残金 3 万円は 2 月 20 日(月)までに振り込まなければならない。
- (d) 出場枠に余裕ができ、インビテーション・リクエストにより招待するスキッパーは別途、指定された期日までに参加料を振り込まなければならない。
- (e) パーティ費と昼食費は 1 名 4 千円である。各チームは予定しているメンバーの人数分を 2 月 20 日(月)までに振り込まなければならない。

**【振り込み先口座】**下記は JYMA 学生マッチ専用口座

三菱東京UFJ銀行 南藤沢支店(732)

普通口座 0040823 日本ヨットマッチレース協会

**(注:JYMAのユース会員、クルー会員などの年会費等の振り込み口座番号は 0023391 です。お間違いのないようご注意ください。)**

6.3 ダメージ・デポジット(通常、チャーター艇によるマッチレースではダメージ・デポジットを徴集するので後学の為、記載。本大会は徴集しない。)

- (a) 最初のダメージ・デポジット〇万円は参加料とともに支払わなければならない。このデポジット額は、1 事故の結果、スキッパーが支払わなければならない最大額ではない。ただし、本 NOR、もしくは SII にて別段の定めがある場合はその規定が優先するものとする。
- (b) 実行委員会の決定によりダメージ・デポジットから差引を行う場合、ダメージ・デポジットが元の金額まで充当回復されなければ、スキッパーはレースを続けることを許されないことがある。
- (c) ダメージ・デポジットが充当されるダメージ、およびその他の損害賠償については 17 項によるものとする。
- (d) ダメージ・デポジットの残額は、できるだけ大会終了時に、又は遅くとも大会終了後 3 週間以内に返却される。

#### 6.4 大会が中止された場合の参加料/ダメージ・デポジットの取り扱い

- (a) 3月9日(金)16時までで大会を中止した場合:参加料と、ダメージ・デポジットを徴集した場合、それらは全額返却する。
- (b) 3月9日(金)16時以降に大会を中止した場合:参加料を原則返却しない。ダメージ・デポジットは全額返却する。

#### 7. ルール

- (a) 本大会は「セーリング競技規則」(RRS)に定義された規則を適用する。これには付則 C を含む。
- (b) SI アペンディックス C(ハンドリング・オブ・ボーツ)はすべての練習中にも適用する。
- (c) ナショナル・オーソリティ規定は適用しない。
- (d) クラス・ルールは適用しない。
- (e) 本レース公示と帆走指示書との間で矛盾が生じた場合には帆走指示書(SI)を優先する。

#### 8. 競技艇とセイル

- (a) 本大会はJ/24クラス艇を使用する。
- (b) 6 艇の競技艇を用意する。
- (c) 競技艇には各々、以下のセイルを用意する。メインセイル1枚、ジブ1枚、スピネーカー1枚。
- (d) 競技艇はレース委員会の判断により毎日もしくはステージごとに、抽選によって割り当てられる。

#### 9. 乗員(スキッパーを含む)

- (a) インカレ枠チームのクルーはスキッパーと同じ大学で入学4年以内。2名まで、U25(大会開催月末時点25歳以下)のOBクルーの乗艇を認める。
- (b) JYMA 会長選出のワイルドカード枠チームのクルーの年齢条件はインカレ枠チームとなるべく同等にするが、JYMA 会長の承認によりその限りではない。
- (c) 1チームとして登録できる乗員の人数制限はない。(e)の制限体重以内であれば乗員は交代することができる。ただし、2レース目以降の乗艇人数は最初のレースに乗艇した人数より多くても少なくともいけない。
- (d) クルーを交代する場合は、事前にレース委員会に申告し、許可を得なければならない。また、クルーの交代のために要する時間はスタート時刻延期の要望対象とはならない。
- (e) 乗員の合計体重は **350kg 以内**でなければならない。体重測定は、最低限シャツとショーツ(ブリーフ)を着用した状態で行う。また、測定体重は、誤差分として体重計の表示から0.2kgを差し引いたものとし、チームの合計体重は小数点以下を切り捨てるものとする。
- (f) 全ての乗員の服装は、通常レース中に使用されるもののみとし、ウエイトバッグなど通常の体重を明らかに変化させる道具等を使用してはならない。
- (g) 登録されたスキッパーが大会を継続することができなくなったとき、レース委員会はオリジナルクルーメンバーからの交代を認めることができる。
- (h) 登録されたクルーが大会を継続することができなくなったとき、レース委員会は交代選手、一時的な交代、その他の調整方法を認めることができる。
- (i) 未成年者(3月10日時点で満20歳未満の者)は、保護者の同意書(署名、捺印が必要)を受付時に提出しなければならない。**

#### 10. イベント・フォーマット(対戦表の意味です。)

大会の一週間前に発表する予定である。

なお、帆走指示書(SI)は2月20日までにJYMAのウェブサイトに掲示する予定である。

#### 11. コース

- (a) . コースは「スタート→風上マーク→風下マーク→風上マーク→フィニッシュ」とする。風上マークおよび風下マークはスターボード・サイドに見て回らなければならない。コースは状況により短縮されることがある。この場合は「スタート→風上マーク→フィニッシュ」の1周とする。風上マークでフィニッシュは行わない。(マッチレースではレース海面に航行禁止区域、観覧艇、他障害物が存在する場合がある。)
- (b) コース海面は日産マリーナ東海の沿岸に設定する予定である。

## 12. 広告

- (a) 競技艇と装備を主催者が提供するので、ISAF レギュレーション 20.3.2 を適用する。各競技艇は主催者によって提供される広告を表示するよう求められることがある。
- (b) 競技者は開催地の陸上では個人広告を表示することが許されることがあるが、これは実行委員会との個別交渉による。
- (c) 広告に関するルール違反は、艇による抗議の対象とはならない(RRS60.1 の変更)。

## 13. 成績と賞

1位のチームにはJYMA賞を贈る。その栄誉を讃えて、JYMAのWebサイトの全日本歴代優勝リストに大学名とスキッパー一名を掲載する。同一大学クルーでないチームも賞の対象となる、その際には大学名覧に固有のチーム名などを記載する予定。

<http://www.matchrace.gr.jp/winners.html>

2012年9月3～8日に開催される『World University Championship Match Racing 2012』に本大会の上位入賞チームを推薦する。

<http://www.wucmatchracing2012.com/index.php?SwitchLang=en>

その他、海外レースオーガナイザーからJYMAにユース選手の招待状が届いた場合、本大会の成績を参考として推薦する場合がある。

例) 2013年1月にオーストラリア/パースで開催される予定の『The Warren Jones International Youth Regattas』

<http://www.warrenjonesregatta.org.au/>

実行委員会は、競技者の不品行、あるいは公式行事への出席を含むリーズナブルな要求に応じることの拒否に対して、賞を減じることができる。

## 14. メディア、映像および音響

実行委員会はビデオクルーとその装備(またはダミー)を、レース中搭載することを求めることができる。また競技者にインタビューに応じることを求めることができる。また実行委員会は大会期間中に採集されたすべての映像、音響を無償で使用する権利を有する。

## 15. 請求の否認

大会に参加するすべての者は、自己の責任で参加している。実行委員会、その提携者および実行委員会より任命を受けた者は、原因が何であれ、損害、損傷、負傷または被った不都合に対する一切の責任を否認する。

## 16. 行動基準と大会運営の補助

### 16.1 行動基準と選手の義務

- (a) 競技者は、公式行事への出席や大会スポンサーへの協力を含む、競技役員からのリーズナブルな要求に応じなければならない、また大会の名誉を傷つけるような行動をしてはならない。
- (b) 競技者は、艇と装備を通常の注意とシーマンシップによって取り扱い、SIアペンディックスCとDに従わなければならない。
- (c) このSIに対する違反のペナルティは、PCの裁量であり、それには大会へのこれ以上の参加からの排除を含めることができる。

**16.2 参加選手は可能な限り大会運営の補助をしなければならない。**

### 17. ダメージの取り扱い基準

17.1 以下のアイテムの紛失は理由のいかに関わらず当該艇の責任として、記載の金額を請求する。

- (a) ウインチハンドル: 15,000円/1本
- (b) 抗議旗(Y旗): 5,000円/1本
- (c) 識別旗、B旗、損傷旗: 各3,000円/1枚

17.2 今回使用されるレース艇が加入している艇体保険の免責額は1艇につき100,000円である。免責額内のダメージ補修費用は、当事者負担となることがある。この金額(100,000円)は1事故につきスキッパーが負担しなければならない上限ではない。

17.3 帆走指示書アペンディックスC(ハンドリング・オブ・ボーツ)に違反した結果生じたダメージは艇体保険適用の対象とはならない。当事者の負担である。

17.4 他艇との接触によって生じた、艇体、セイル、艀装その他備品のダメージは、その保険免責額内の修理費用を当事者間で負担するものとする。その負担割合は原則として当事者間の協議によるものとするが、当事者から要請があった場合、実行委員会はプロテスト委員会(PC)のアドバイスを受けて、以下の割合によって分担することを勧告する。

<権利艇・非権利艇が特定できる場合>

- (a) 権利艇 2 非権利艇 8

<権利艇・非権利艇が特定できない場合>

当事者間で均等割りとする

17.5 前項に該当するダメージが生じた場合、各スキッパーは帰着後すぐに、遅くとも30分以内にコンディション・レポートの他に別書式のダメージ・レポートをレース委員会に提出し、口頭でその概要を報告する義務がある。

17.6 大会の進行を妨げるような重大なダメージを引き起こしたスキッパーに対して、レース委員会はダメージの修理が完了するまでの間、そのスキッパーの成績を不戦敗とする場合がある。

## 18. インビテーション・リクエスト

本大会には招待されたスキッパーのみが参加できる。

招待状を得ていないチームで出場を希望するスキッパーは、別紙のインビテーションリクエストフォームに必要事項を記入し、1月20日までに実行委員長/田代宛 <<[tashiro@matchrace.gr.jp](mailto:tashiro@matchrace.gr.jp)>>にメールで送付し、招待要請の登録をすること。

## 19. エントリーの申し込み先 及び 問合せ

JYMA/実行委員長(エントリー関係): 田代和史 携帯電話080-6708-2580 e-mail: [tashiro@matchrace.gr.jp](mailto:tashiro@matchrace.gr.jp)

日産マリーナ東海/実行委員: 渡邊大志(職場電話0563-62-4511 携帯電話090-5032-8663) e-mail: [daishi.watanabe@nm-tokai.com](mailto:daishi.watanabe@nm-tokai.com)

作成日: 2012年2月16日 Version 1.2

## インフォメーション

- (1)宿泊  
会員制ホテル 三河湾リゾートリンクスが1泊(素泊まり)4,042円/1人の格安料金で1チーム1部屋(5名定員)ご利用できます。  
<http://www.linx-xspa.co.jp/>  
限りがありますので、希望チームは早めに日産マリーナ東海/実行委員 渡邊さんへ申し込み相談下さい。
- (2)アクセス…当日の朝、集合も可能 (東京発 8,790円、大阪発 7,010円、博多発 7,540円、仙台 7,840円 各種割引を含まない正規料金)
  - 東京 6:26 発(ひかり 501号)豊橋 8:06 着 /豊橋 8:06 発(東海道線)蒲郡 8:23 着/蒲郡 8:41 発(名鉄蒲郡線)こどもの国 8:53 着
  - 新大阪 6:47 発(のぞみ 208号)名古屋 7:39 着/名古屋 7:47 発(東海道線)蒲郡着 8:28/ 同上
  - 博多駅 前日の 19:50 発(高速バス)名古屋 7:40 着(7:00 着もある)/同上
  - 仙台駅 前日の 21:30 発(高速バス)名古屋 7:30 着/同上
- (3)持参するもの…**会員カード(又は振込証書)、各チーム1名以上、小型船舶免許証**。健康保健証。怪我の無いようグローブと帽子。  
クルー道具(プライア、ドライバ、ビニールテープ、補修シール等 SI 許可品)。
- (4)ドレスコードほか…**ライフベストは、持参すること**。主催者側からビブスを支給する予定もあり、膨張式ライフベストは禁止とする。陸上においても服装は出来るだけ見栄え良くチーム統一を願います。部旗は不要(陸上ではノーサイド)です。主催者がスターンパルピット又はバックステーに各チームの旗を用意する。メディアの取材、撮影には快く協力をお願いします。

以上



## レース公示 (Ver. 1.2) の修正・訂正 Amendment of NOR

1. 本大会はマッチレース並びにキールボートの普及・強化を趣旨としており、期限までに唯一、インビテーション・リクエストを提示した金沢大学を加えて招待し、出場チームを9チームとする。NOR2. 5 (a)を下記に修正する。

### 3.5スキッパーの参加資格

- (a)招待出場数は9チーム。

2. 多くの団体、企業のご協賛、ご協力により、参加料の残金3万円とパーティ費と昼食費を無償とする。  
(結果、本大会の参加料は既に納入済みの参加資格留保の4万円のみ。)  
下記のNOR 6. 2 (c)と(e)を削除する。

### 6.2 参加料/パーティ費/昼食費

- (c)参加料の残金3万円は2月20日(月)までに振り込まなければならない。
- (e)パーティ費と昼食費は1名 4,000 円である。各チームは予定しているメンバーの人数分を2月20日(月)までに振り込まなければならない。

**注:各チーム5名分の無償を上限とする。帯同者を含め5名を超える場合は受付時にその人数分のパーティ費と昼食費の4,000円/人を徴集する。**

**(実行委員会は帯同者も海上で観戦できるよう配慮致します。準備の都合上、事前に申告願います。)**

発行日：2012年2月17日  
大会実行委員長/田代